

初期臨床研修プログラム： 泌尿器科

コース責任者： 里見 定信 指導医： 里見 定信 上級医： 安川 瞳
コースの位置づけ：必修科として、0ヶ月、選択科として1ヶ月から

I 一般目標(GIO : General Instructional Objective)

外科系医師として一般的知識・技術の上に、泌尿器科医師として基礎的知識・技術の習得の努め、チーム医療の中で自立的に実践できるようにする。

II 行動目標(SBOs : Specific Behavioral Objectives)

- 1) 尿路、男性生殖器の解剖・生理を説明できる。
- 2) 基本的な泌尿器科的診察を正確に行うことができる。
- 3) 外来患者の診察を指導医のもと実践し、適切な処置、必要な検査を実施することができる。
- 4) 泌尿器科手術の助手ができる。指導医のもと、小手術（冠状切除術、陰嚢水腫根治術他）を安全に実施できる。
- 5) チーム医療の一員として、入院患者の術前、術後管理を実施できる。
- 6) カンファレンスにおいて症例提示ができる。

III 学習方法(LS; Learning Strategy)

外来診療、病棟回診および手術に参加し泌尿器科領域における基本的知識および技能を修得する。泌尿器科疾患について理解を深め、診断、治療の能力を習得する。

- 1) 基本的診察法
 1. 全身的診察のほか、外性器および直腸内指診の実施
 2. 患者、家族と正しくコミュニケーションをはかる
- 2) 臨床検査：泌尿器科特有の症状、臨床経過および診察から得られた情報を基に適切な検査を実施し、結果を正しく解釈する。
 1. 尿、血液検査
 2. 超音波検査
 3. 膀胱鏡
 4. 尿流測定
 5. CT 検査
 6. 静脈性腎盂造影
 7. 逆行性腎盂造影
 8. 膀胱、尿道造影
- 3) 基本手技
 1. 導尿、尿道カテーテル留置の実施
 2. 膀胱瘻、腎瘻の交換などのカテーテル管理の理解
 3. 膀胱鏡検査を実施し、所見の把握と解釈
- 4) 手術手技
 1. 尿管ステント留置、膀胱鏡、腎瘻造設の実施
 2. 小手術（冠状切除術、陰嚢水腫根治術他）の実施
 3. 腰椎麻酔の実施
 4. 内視鏡手術（膀胱碎石術、経尿道的前立腺切除術など）、開腹手術（腎摘出術、膀胱全摘除術、尿路再建術、前立腺前摘除術など）に参加
- 5) 基本的治療法
 1. 外来再診および初診患者の問診を担当し診断治療指針をたてる。
 2. 血尿、排尿障害、尿路結石、尿路感染症などに対する適切な救急対応の実施
 3. 泌尿器科疾患全般について診断し治療指針をたてる。
 4. チーム医療の一員として術前、術後管理の実施
 5. 癌性疼痛の管理、緩和医療に習熟する。

6) 泌尿器科疾患について系統的に理解する。

1. カンファレンスにおいて症例を提示し、問題を討議する。
2. 可能ならば学会等で発表する。

Ⅲ 学習評価(Ev :Evaluation)

知識：レポート、EPOC 対応

技能：観察記録、スケールにて評価：指導医

態度：観察記録評価；指導医、看護師他コメディカル

*当科でのレポート作成： 血尿、排尿障害

泌尿器科研修における週間予定

曜日	午前	午後
月	外来診察見学（初診患者の予診等）	前立腺生検見学、入院患者診察
火	外来診察見学（予診、検査等）	E SWL 見学、症例検討
水	入院患者診察見学	手術見学
木	外来診察見学（予診、検査等）	手術見学
金	外来診察見学（予診、検査等）	カンファレンス症例提示